

令和4年3月30日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

新型コロナウイルス感染症陽性者に対する中和抗体療法の推進について

神奈川県医師会より通知が参りましたのでお知らせします。

神奈川県医師会
会長 菊岡 正和
(公印省略)

新型コロナウイルス陽性者に対する中和抗体療法の推進について (ご依頼)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件について、神奈川県健康医療局医療危機対策本部室長より、別添の通り通知が参りました。

本会としても、新型コロナウイルス感染症の陽性者で、中和抗体療法の適用のある方に対しては積極的に投与すべきと考えており、県の取り組みは非常に効果的なものであることから、全面的に協力してまいります。

については、貴会におかれましても本件ご了解いただくとともに、貴会管下関係医療機関に対し、別添の医療機関向けチラシも含め、ご周知については是非ともご協力頂きたいと思っております。

なお、発熱診療等医療機関には県から直接通知しておりますことを申し添えます。

○神奈川県「中和抗体療法に関する医療機関向けページ」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/cocktail-kanagawa2.html>

○ 中和抗体療法に関する事項について

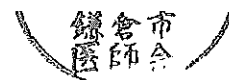
神奈川県中和抗体療法調整チーム 045-285-0525

E-mail : rona-kanagawa.u44y@pref.kanagawa.jp

事務担当

神奈川県医師会 健康医療課：福本

E-mail: kenkouiryu@kanagawa.med.or.jp





全ての陽性高齢者に 中和抗体療法を！

新型コロナウイルス感染症に感染した患者に中和抗体薬「ゼビュディ」を投与した場合、発症から時間の経っていない軽症例において高い割合で重症化を抑制する効果が見られることが分かっています。対象となる方へ、診断時に治療のご案内をして頂くようお願いいたします。

65歳以上 の全ての陽性者に
中和抗体療法を
ご紹介ください

中和抗体薬「ゼビュディ」投与後の重篤な副作用は0.062%*です
(2021年9月29日～2022年3月1日の集計)

*グラクソ・スミスクライン株式会社「ゼビュディ点滴静注液500mg 重篤な副作用一覧表」より

1 65歳以上の患者に中和抗体療法の説明・意思確認

➤ 効果やリスクを説明し、治療の意思を確認ください

2 HER-SYSを入力(または紙の発生届をFAXで提出)

➤ 必ず当日中に発生届を出してください

3 県の中和抗体療法調整チームに治療の調整を依頼

➤ 15時までに電話を頂ければ、翌日の治療を手配します



神奈川県 中和抗体療法調整チーム

045-285-0525 (平日9:00～17:00)



参考情報

患者様への投与に関する詳細情報はこちら

神奈川県「中和抗体療法に関する医療機関向けページ」

- ・投与適応チェックシート
- ・無床診療所向け往診・外来投与文書
- ・重症化予防効果の実態調査結果 など

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/cocktail-kanagawa2.html>



中和抗体薬「ゼビュディ」に関する情報はこちら

グラクソ・スミスクライン株式会社「ゼビュディ点滴静注液500mg」

- ・薬剤に関するお知らせや注意事項
- ・調製・投与方法のご案内
- ・薬剤の使用にあたっての注意 など

<https://gskpro.com/ja-jp/products-info/xevudy/>



患者様向けの中和抗体療法の説明はこちら

神奈川県「神奈川県における中和抗体療法の取組み」

- ・中和抗体療法とは
- ・中和抗体療法の対象者
- ・中和抗体療法の注意点

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/cocktail-kanagawa.html>



全ての陽性透析患者に 中和抗体療法を！

新型コロナウイルス感染症に感染した患者に中和抗体薬「ゼビュディ」を投与した場合、発症から時間の経っていない軽症例において高い割合で重症化を抑制する効果が見られることが分かっています。対象となる方へ、診断時に治療のご案内をして頂くようお願いいたします。

透析中

の全ての陽性者に
中和抗体療法を
ご検討ください

中和抗体薬「ゼビュディ」投与後の重篤な副作用は0.062%*です
(2021年9月29日～2022年3月1日の集計)

*グラクソ・スミスクライン株式会社「ゼビュディ点滴静注液500mg 重篤な副作用一覧表」より

1 透析を受けている患者に中和抗体療法の説明・意思確認

- 効果やリスクを説明し、治療の意思を確認ください

2 HER-SYSを入力(または紙の発生届をFAXで提出)

- 必ず当日中に発生届を出してください

3 中和抗体療法を実施

- 実施後、実施報告を忘れずお願いします

貴院で治療ができない場合

- 神奈川県の下記連絡先に治療の調整を依頼ください
- 自院で治療を希望する場合も下記連絡先へご相談ください

神奈川県 中和抗体療法調整チーム

045-285-0525 (平日9:00～17:00)

参考情報

患者様への投与に関する詳細情報はこちら

神奈川県「中和抗体療法に関する医療機関向けページ」

- ・投与適応チェックシート
- ・無床診療所向け往診・外来投与文書
- ・重症化予防効果の実態調査結果 など

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/cocktail-kanagawa2.html>



中和抗体薬「ゼビュディ」に関する情報はこちら

グラクソ・スミスクライン株式会社「ゼビュディ点滴静注液500mg」

- ・薬剤に関するお知らせや注意事項
- ・調製・投与方法のご案内
- ・薬剤の使用にあたっての注意 など

<https://gskpro.com/ja-jp/products-info/xevudy/>



患者様向けの中和抗体療法の説明はこちら

神奈川県「神奈川県における中和抗体療法の取組み」

- ・中和抗体療法とは
- ・中和抗体療法の対象者
- ・中和抗体療法の注意点

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/cocktail-kanagawa.html>

